

和歌山県白浜で初めて発見された6腕のトゲイトマキヒトデ (ヒメヒトデ目, イトマキヒトデ科)

久保田 信*・Andrew M. LOHRER**・福井 康雄***・太田 満*

Shin KUBOTA, Andrew M. LOHRER, Yasuo FUKUI and Mitsuru OHTA: The first record of 6-armed specimens of the sea-star, *Asterina coronata japonica* HAYASHI (Spinulosida, Asterinidae), from Shirahama, Wakayama Prefecture, Japan

わが国では房総半島以南の潮間帯から浅海に生息するトゲイトマキヒトデ *Asterina coronata japonica* HAYASHI は、R 45 mm までの小形のイトマキヒトデ類である (HAYASHI, 1940; 重井, 1994a, b; 小黒, 1995)。本種は和歌山県白浜町の番所崎周辺海岸や島島では、潮間帯あるいはその直下の転石の下面で普通にみられるヒトデ類の一種で (HAYASHI, 1938, 1952参照), これまで5腕をもつ個体のみが採集されていた。ところが、1998年の春季に、潮間帯直下から6腕個体が連続して発見されたのでこれらについて報告する。

採集年月日 1998年3月27日
標本の大きさ R 28 mm

標本 2

採集地点 鳥の巣の岩礁
採集年月日 1998年4月18日
標本の大きさ R 20 mm

標本 3 (図 2)

採集地点 江津良の岩礁
採集年月日 1998年4月18日
標本の大きさ R 20 mm
色彩 本個体は上記の2個体や5腕の通常個

6腕のトゲイトマキヒトデの記録

標本 1 (図 1)

採集地点 阪田の岩礁

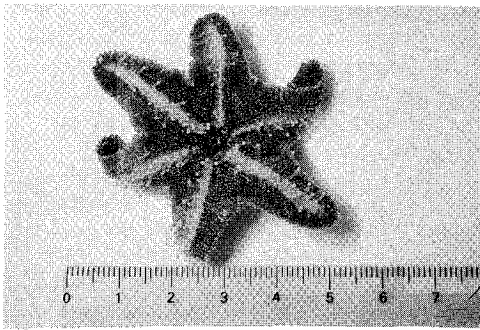


図 1 和歌山県白浜産の6腕のトゲイトマキヒトデ (口側)

Fig. 1 Oral view of a 6-armed specimen (No. 1) of the sea-star, *Asterina coronata japonica* HAYASHI, from Shirahama, Wakayama Prefecture, Japan.

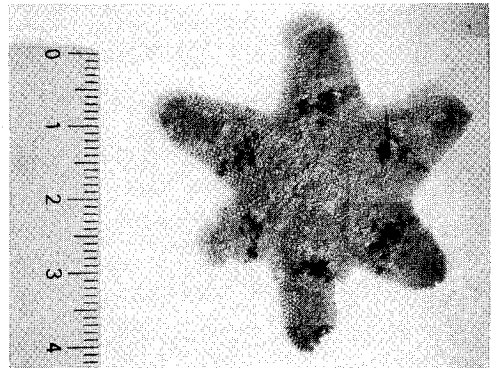


図 2 和歌山県白浜産の6腕のトゲイトマキヒトデ (反口側)

Fig. 2 Aboral view of a 6-armed specimen (No. 3) of the sea-star, *Asterina coronata japonica* HAYASHI, from Shirahama, Wakayama Prefecture, Japan.

* 京都大学大学院理学研究科附属瀬戸臨海実験所 (〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町臨海) Seto Marine Biological Laboratory, Graduate School of Science, Kyoto University, Shirahama, Nishimuro, Wakayama 649-2211, Japan

** Marine Sciences Department, University of Connecticut, Grnton, CT 06340-6-097, USA

*** 浪速短期大学教養課程 (〒546-0023 大阪市東住吉区矢田2-14-19)

Naniwa College, Course of General Education, 2-14-19 Yata, Higashi-Sumiyoshi, Osaka 546-0023, Japan

体と異なり、色彩が薄く、各腕の基部で斑紋が明瞭。ただし、各腕の先端にある眼点は赤褐色で他個体と同様。加計呂麻島産の個体で赤褐色の個体が記録されている（重井，1994a, b）が、白浜ではこのような色彩のものは未採集。

考 察

ヒトデ類は5放射相称を基本とし概して5腕を有するものが多いが、ヤツデスナヒトデ *Luidia maculata* MÜLLER and TROSCHEL [7-11腕]、オニヒトデ *Acanthaster planci* (LINNAEUS) [10-17腕]、フサトゲニチリンヒトデ *Crossaster papposus* (LINNAEUS) [9-11腕] などのように種類によっては多数の腕をもつものもある（小黒，1995参照）。また、基本的に5本の腕を有する種だが個体変異が大きいものもあり、例えばイトマキヒトデ *Asterina pectinifera* MÜLLER and TROSCHEL では腕の数が5を中心としてその前後の数をとることは周知の事実である（久保田，未発表データ）。本種はこのイトマキヒトデと同属であることから、腕の数、加えて色彩にも

変異があるのはそれほど稀な例にはあたらないのかもしれないが、今後、各地でのこのような知見の集積が必要であろう。

参 考 文 献

- HAYASHI, R. 1938: Sea-stars in the vicinity of the Seto Marine Biological Laboratory. Bull. Biogeogr. Soc. Jpn., 8, 271-292, pls. 5-7.
- . 1940: Contributions to the classification of the sea-stars of Japan. I. Spinulosa. J. Fac. Sci., Hokkaido Imp. Univ., Ser. 6, Zool., 7(3), 107-204, pls. 7-13.
- . 1952: Sea-stars of Seto and adjacent waters. Publ. Seto Mar. Biol. Lab., 2(2), 143-159, pl. 8.
- 小黒千足. 1995: ヒトデ綱, in 西村三郎編著 原色検索日本海岸動物図鑑 [II] (初版). 513-529, pls. 122-125, 保育社, 大阪.
- 重井陸夫. 1994a: ヒトデ類, in 奥谷喬司編著 海辺の生きもの (初版). 291-300, 山と溪谷社, 東京.
- . 1994b: ヒトデ類, in 奥谷喬司編著 サンゴ礁の生きもの (初版). 246-254, 山と溪谷社, 東京.